

だんせい と じよせい : けいいに あたい する そんげん ある そんざい

しんあい なる ムスリム の みなさま !

わたしたちの ぜんろうの しゅ (スバーナワ タアーラー) は、つぎの ように つげて おられます。「ひとびとよ。ほんとうに われらは あなたがたを おとこと おんな とに そうぞうし [た] ……」¹

また、ハディースをとおして、あいすべき よげんしゃ 齋 は こうかたっています。「あなたがたのうち もっとも すぐれたひととは、かぞくに たいして もっとも よくしているひとである。……」²

しんあい なる ムスリム の みなさま !

わたしたちの すうこうな しゅうきょうである イスラームの もくてきのひとつは、あいと そんけい、せいじつさと しんらいにもとづいた かぞくとしての つよい おすびつきを きづくことです。これと かんれんして、イスラームは かぞくのひとりひとりに こじんとしての せきにんを かしています。

ふうふのおたがいに たいする せきにんとは、けつこんを どうそうに してしまうことではなく、おたがいを アッラーからの あずかりものとして みなすことです。とめるときも まずしいときも、よいときも わるいときも、おたがいに ささえあうことです。りょうしの せきにんとは、じぶんの こどもたちに こきょうの かけかんと せいしんてきな かけかんとをつたえることです。こどもたちのために じかんとを さき、あいじょうをしめし、あんぜんで へいわな かけいかんきょうをととのえてあげることです。こどもたちの せきにんとは、りょうしの けんりを そんちようすることです。りょうしんには ていねいなことばではなし、やさしくすることです。りょうしんを よろこばせるためにも、けつして したうちなど しないことです。

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま !

わたしたちの ぜんろうの しゅ (スバーナワ タアーラー) は、わたしたちを だんせいと じよせいとに そうぞうなさいました。じよせいは じよせいとして、また だんせいは だんせいとして、あらゆる そんけいに あたいする そんげん ある そんざい です。もっとも めいよ ある そんざいとして ぜんろうの しゅ (スバーナワ タアーラー) が そうぞうなされた にんげんとしての じゅんすいな ほんしつのはかいを もくてきとした、いつだつした とりくみは、かみの いしを むしする かたちで にんげんの そうぞうを さまたげること になります。せいべつの けつていは こじんの じゅうのはんちゅうに ありません。にんげんの ほんしつのはかいを もくてきとした こういを、じゅうという きこえの いいことばで せいとうかすることは できません。わたしたちの しゅうきょうにおける だんじよかんとは あいいれない ふてきせつな りかいや しこうは、かぞくの ありかたに こんらんをおよぼし、じんるいの いちせたいを ほうかいさせ、しゃかいに さんじを もたらします。

しんあい なる ムスリム の みなさま !

ちじょうの らくえんである かぞくの たいせつさを しりましよう。かぞくの ありかたをおびやかす あらゆる しゆるいの ゆうがいな りゅうこうに たいして けいかいしましよう。ほかの あらゆることとおなじように、かていせいかつにかんしても しゅうきょうが めいじる げんそくを せいじつに まもる ように しましよう。しんせつと やさしさ、おもいやりと あいじょう、つつしみと けんきよさが かぞくに いきとどく よう つとめましよう。

ほんじつ の きんようれいはいの ホトバを、せいなる クルアーンにある つぎの いのりをもって おわります。「しゅよ、わたしたちの はいぐうとしそんの なかから、めにも すずやかな [よろこばしい] ものを さずけてください。わたしたちを、おそれるもの の せんどうしゃとして ください。」³

¹ Hujurat, 49/13.

² Tirmidhi, Manaqib, 63.

³ Furqan, 25/74.